essais こころみ 2022年6月

2022年6月1日(水) 晴

今朝は空気がつめたく、晴れて、いまのところ気持ちの良いお天気。もうアジサイは咲いている。そういえば宇治の三室戸寺に広いアジサイ園がある。来月は象鼻杯開催月、調べてみると今年は開催、7月9日。

- 「徳を積む」?! -

今朝の気持ち良いお天気に、足どり軽やかに事務所へ着きましたが、すぐに鳴ったスマホの朝のニュースをチェックして、気がすこし重くなりました。「ウクライナ侵攻」は、どうなっていくでしょうか。いま一度、1945年から2045年の100年世界時流図をアウトプットしてみようと思っているところです。

マクロ、ミクロの環境を俯瞰すると見えてくるものがあります。自分自身を俯瞰するのも同様で、それはこれまでも何度となく書いています。俯瞰することは心理的安定につながる、経験的にそう感じています。

若い頃から時々、「どうしてそんなに強いんですか?」と人から感心してもらうことがあります。でも若い時の強さは目にみえる強さ、たぶん本当に強くなるのは、強くしていくのは、これからからじゃないか。

世界は混沌として、自分をとりまく生活環境も自分ではコントロール不可。身は刻々と老いる一方で、自身の想いと存在意義を自他ともに問う旅は続く。こころ・精神の「定」は必要不可欠、よりよい旅の鍵。

先日知人の男性が、「ぼくも50代半ばになったから、徳を積まなければと思って、落ちてるゴミを拾うようにしている」。「徳を積む」とは、なんと、でもなかなか素敵な言葉です。何か一つは決めてみようかしら。

32日(木) 午後1時すぎ

大阪城公園



時たる係漏「棚歩く間。乾のれわの。だ昨 でほいお日れ下さか日しんたじ、にのいらに たの葉さ鳥かべわ大続 わのんのえンい阪き ず音が小るチ人城か。地気」もが公 もが公力 で心面味時誰ほ演う し身をよ間もとヘッ たと履いをいんおと がもく声過など昼晴 本 解 当か集くま にれめでし至てっせ いまら掃た。福 の藤散か いしれ除

2022年6月6日(月)芒種 雨

今日は芒種、近畿も梅雨に入る頃。昨夜から雨、今日一日ずっと雨の 予報。気温は低く、冷たい雨。

- もう少し口にだして -

エンパワーメント、アサーション、アライ、アドボカシー、などなど。個々人のアイデンティティー、他の誰でもないあなたとわたしがいて、それぞれの能力を発揮し、個々のライフを形成して、社会は構成されていますよね、ということを、あらためて確認するような用語群。

聞いてみないとわからないもんだ…ということがよくあります。自分で業を起こそうとする人たち、その想いや問題意識は、本当にさまざま。同じ人と何度となく話をしていても、「それはまたなんと…、そういう風にできる人はそうそういませんよ」と感心して返すこと多々。

でも多くの人が同じように言う、「友だちにも、あまりこういうことは話しません」。自分の心底おもっていること、考えていること、将来像、意志、などなど、話せる友人がいるという人の方が少ない?

ある相談者がいつか言っていました、「自分の話は聴いてほしいけど、 相手の話には関心がない人が多い」。

身近に話せる相手がいなくても、今の社会は、インフラが整っているから、いいといえばいい。各種各様に相談できる場や方法が官民ともにたくさんあります。情報も今は得やすい。その分、よく選んでいくことも大事。翻弄されて、逆効果になってはどうしようもありませんから。

インフラがあるのはよしとして、それは良いとして、日常生活の中でもっと自分の考えを話したり、相手に関わったりできないものか思ってしまう。「あなたはそうできるかもしれないけど・・・」と言われそうですが、良かれと思うことも、そうでないことも、もう少し口にだす。

そうすることによって、互いに何か気づき、今日とちょっと違う明日があるはずなのに…。『コミュニケーションはスキルの問題ではなく、意欲の問題』(平田オリザ)。

2022年6月7日(火) 〈目休め〉の工夫



外の景色が見えないので、〈目休め〉になるようなものを工夫。まずは正面にプレゼントされた「メリーポピンズ」、右に「屋久島写真集」、左に人生の大先輩から頂戴した額、そして、つい先週買ったばかりの『宝石図鑑』。写真集も図鑑も、季節や気分でページを決めて、開いています。

写真とはいえ、これらが意外に〈目休め〉になる。宝石図鑑は華やかな空気感をかもしだし、なかなか目の保養になります。 ちょっとしたことですが、けっこう効果的。

2022年6月8日(水) 晴れ

昨日も今日もひんやりとした朝。空気は澄んで、都会の街路樹も映える。見た目にやさしく、気持ちが清々しくなる。この一瞬、一日の活力。

- 姿勢 -

昨年の今頃は、「心理」にあらためて問題意識をもった時期でした。今年は、なんというか、「コミュニケーション」では範囲が広すぎ、「対人関係」では主体がぼやける感じがして、となると、「姿勢」となるでしょう

「姿勢」には〈目にみえる〉姿勢と〈目に見えない〉姿勢がある。前者は立ち姿や立ち振る舞い、態度などがあたり、後者は、その人の価値観や考え方などの精神面。後者の精神面の表れが前者でしょうね。

なお、後者の「目にみえない姿勢」には原則というものがあるのではないか。誰にとっても人間関係において、1. 尊重(相手を尊重する) 2. 意志(自分の意志をはっきり表す) 3. 諦観(葛藤を許容し超然と構え

相手を尊重するからこそ、それぞれの意志の向きが根本的に異なると わかれば、関係を解き、それぞれの世界が生きていきましょうと、深追い をしない。発展的解消という言葉もあります。

ところで個々人の「目に見えない姿勢」は、「自分の軸」に言い換える こともできそう。

「自分の軸」。LYK流解釈として、「自分の守りたいものの究極」を指していると話してきています。わたしの場合は、自分の精神性。ある人は、障がいのある自分の子、と言った人もいます。

公私ともに、人間関係における原則と「自分の守りたいものの究極」 にそって、目にみえる姿勢に表す。これは何度繰り返しても、すぎるもの ではないように感じています。

そうでなければ、自分も自分の身近な人たちも守ることができない。

2022年6月11日(土) 曇→雨

今日は曇りから雨、でもそんなに強くは降らなさそう。明日はいったん晴れて、いよいよ来週中には近畿も梅雨入り、たぶん。夏至は十日後。

- 都市の風景 -

街を行き来すると、世相をかいま見ることができます。東京の人はよく 「民度」という言葉を使いますが、その民度も垣間見えます。

国レベル、都市レベル、地域レベルと色々ですが、車移動では観察できないことが観察できる。

建築家の安藤忠雄さんも、今はどうかわかりませんが、以前は電車を使って移動しているところや、歩いてどこか行くところを見かけました。

公共交通をつかって行き来することを大事されているように見受けました。なぜなら、かならず辺りを見渡している。世界を歩いた方ならでは

韓国ソウルの地下鉄で物売りの人がいたのには、びっくりしました。今から15年ほど前のことです。車両を順番に移ってきて、口上を述べて、座っている乗客にはそのヒザの上に商品をおいていく。

こちらとして興味津々、皆どうするのかなぁと見ていたら、なんと買う 人がいる。ヒザの上に置かれた人で買わないなら、じっとそのままにし ておく。次の車両に移る前に回収されるのです。

なんとも感心しました。そもそも地下鉄車内で物売りができるということ自体、どういう仕組みになっているのか。意外と勝手にやっていて、地下鉄側も暗黙の了解? 現地の知人に聞いてみればよかった。

それにしても、こういうことが許容されている社会は健全、そう感じたものです。さて、いまはどうなっているでしょう。もう長らくソウルへ行っていないし、チェジュにも今年もやはりパス。来年こそは…。

2022年6月13日(月)

高麗橋の高速下、横堀川ぞいの遊歩道

昼食後の運動がてら、天満橋のモールへ行く途中、いつも通る高麗橋からふと見ると、パッと赤い花が目に飛び込んできました。何とも夏らしい。



2022年6月14日(火)雨

近畿もたぶん今日には梅雨入り、むこう一ヶ月なんとか快適にすごして、夏本番を元気に迎えたいもの。自分でも感心するくらい今朝もよく食べ、準備は上々。

- 主体的に、自律的に -

ダメとわかっていながら、無くならものがたくさんあります。戦争はその最たるもの、暴力、脅し、など等。マルチ商法、ネットワークビジネスもまた無くなりませんね。国税庁の職員までかかわったという給付金詐欺事件の背景にもネットワークビジネスありとは…。

先週帰りの地下鉄の中で、座席にすわっていても体が起きているような男性をみました。ずいぶん前にテレビで、家から出られないほど超肥満男性を紹介していましたが、その人の縮小版のような全体像。とにかくつらそうです。

手を座席において、体を支えている。そうしないと座席から浮いてしまうようでした。なぜそこまで…。たぶん食生活が一番の原因でしょう。 ジャンクフードもたまにはいいですが、〈味覚の刷り込み〉に合ってしまう と、なかなか止められない。

今朝7時すぎの地下鉄車内で、ドアに頭を預けて、スマホゲームをずっとしている制服の男子をみました。たぶん4月に中学生になったばかり。 背は小さく、まだまだかわいい感じ。スマホの画面にはルーレットのようなものも。まさか、課金ゲーム?

よくもわるくも、選択肢の多い世の中、本当によほど主体的に、自律的に選んで、生活していかないと、身も心も滅びかねない。そんな気をつよくする昨今。

*目休め、保養に、宝石の写真集を机の右端に置き始めました。机回りがパッと明るくなった



2022年6月17日(金) 曇⇔晴

近畿も梅雨入りして、雨がふったりやんだり。今日は晴れ間が多いそう、でも明日からまた雨模様とか。まだ夜はひんやりするのが救い。

- 動かない、動けない? -

今朝いつものように話していたら、急にプチッとICレコーダーがとまった。充電が切れたのでした。調子よくしゃべっていたのに、あーぁ、です。

話していたのは水曜夕方のことです。「女性チャレンジ応援拠点」に向かおうと北浜駅から地下鉄5両目の一番後ろに乗った。ドアが閉まる直前に年配の女性がゆるりと入ってきた。

たぶんコットンの、ベージュ色のフレアワンピースに同系色の縁のある帽子。年齢は70代半ば?おしゃれな〈貴婦人〉という感じ。それ以上気にとめることなく、女性はそのまま奥の方へ入っていきました。すぐに電車は発車、すると、「あ~あ、あ、あ、あ~!」。

えっ?とすぐに声の方をみると、体を後ろにのけぞらせている。しっかり立つ前に電車が発車して、体を支えられなかったのでしょう、肩まわりは車両のつなぎ目のドアに付くかつかないか、腰から背中にかけては、座席にすわっている人のヒザに乗っかっている。

座席には別な人もいたし、前の3人掛けの座席もうまっていたし、近くに立っている男子もいた。声と同時に誰かが助けるはず、そう思いきや、誰も動かない。

1秒、2秒…、5秒ぐらいになったでしょうか、少し離れたところにいたわたしが慌てて駆け寄って、肩に手をかけ、体を起こそうとした。この段になってようや座席の中年女性が、「大丈夫ですか」。

それでもなんと驚くことに、自分のヒザに倒れ掛かっているのに、まだ、 ただボーとしているだけの男性!

「すみません、すみません…」、弱い声で〈貴婦人〉が言って、3人掛け の真ん中が空いていたので、そこに座るようにして、わたしはすぐに元の 位置のドア側に戻りました。

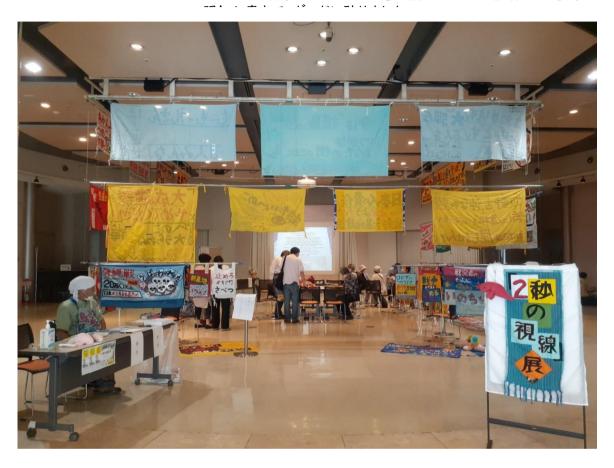
ガラスドアに自分の顔が映ります。われにかえり、"あぁ、もう誰も助けてくれない世の中になっているんだなぁ、自分の身は自分で守るしかないんだ…"と痛感したのでした。

高校生が車内での喫煙を注意して暴力をふるわれ、誰も助けなかった、あのニュースを思い出した。

それにしても、なぜすぐ動かないのか、いや、たぶん動けなくなっているのではないか、そんな風に考えました。なぜそうか。それは追って書くことにします。個人的には抜き差しならないことだと考えています。

2022年6月18日(土) 午後2時前、大阪天満橋のドーンセンター

十数年前に仕事で出会った方が、ポケットマネーで開催された『「2秒の視線」展』。お会いするのは本当に10年ぶりぐらい。ずっと何かしら社会への問題意識を持ち続けて生活してこられたことをあらためて実感。年を重ねてますますパワーフルな方でした。こちらの背筋ものびます。「ぜひ付箋にメッセージを!」を頼まれて、「主催者の心意気に敬



2022年6月20日(月) 観葉植物



昨年2鉢買った観葉植物の一つ、陽が当たらなすぎるのかメインのボディーがダメになって、それでも脇から一本出てきたものはスクスクと育っています。ちょっと見た目はわるいけど、そのまま受付コーナーに置いていたら、先日から、ダメになったメインのボディーから新しい芽が! 植物の力はすごい。

2022年6月21日(火)夏至 曇→雨

沖縄は梅雨明け、本州はこれからが梅雨本番、夜が寝苦しくなってきた。早朝でもむし暑い。今日は夏至、ちなみに、関西ではタコを食べるら

- 読む・書く・覚える・算じる・まとめる -

「五知」といえば、中国宋の時代の賢人の教えを指すようですが、それとは別に、知の活動5つを指している本もありました。「読み書き算盤」にプラスして、覚える、まとめる。

道具がかわると人間の能力も左右されていきますが、電話番号記憶はその象徴。むかしは誰でもけっこうな数おぼえていたものです。そのうち五知すべてをスマホ、AIにまかせるようになる。

今のところはまだ過渡期ですから、ある程度個々人で自分に合った方法を選択できる。プライベートなレター類は手書き、指の感覚のために、ときどき本物の算盤をはじく時もあります。

知の活動というぐらいですから、実際に自分がそれらに取り組んでこそ身につき、実になるはず。人間は小宇宙、複雑ながら、よくもわるくも全体としてはバランスがとれている。よくもなれば、わるくもなる。

五知のどれも互いに有機的につながっていますが、本人の中に一つの「学び」としてすわらせるのは、「まとめる」だろうと思います。特にそれなりに長い期間をかけた経験の学びは、「まとめる」がもたらす。

実際、そういう声を聞きます。公私ともにまわりには本や冊子にまとめた個人、事業所が少なくありません。でもその作業がなかなか大変。

言語化する、文書にする、その前に過去から現在までを総ざらいする、 そして未来を展望する。よほどしっかりタスクチェック、スケジューリング しないと、遅々として進まない。

でもそれを乗り越えると、大きな恵みがある。何より、一言でいえば、 「自分を、自分たちを、褒めてあげたい」という気持ちになります。自信と 誇りがみなぎる。

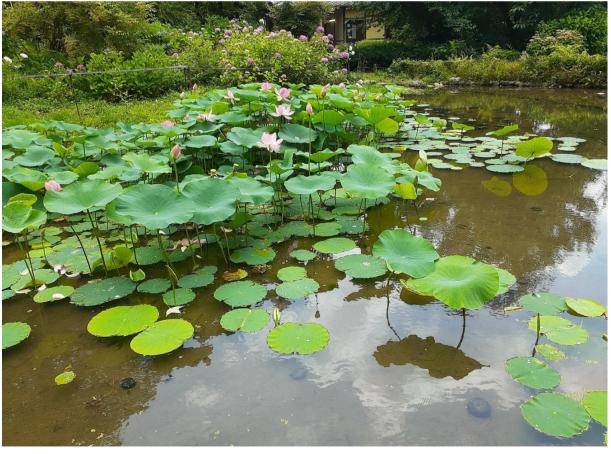
長期にわたることを「まとめる」、考えるだけでも気が重くなりますが、 でも実行する価値は大。目にみえる媒体ができるわけですから、他者に も伝えやすくなります。試してみます?

2年6月23日(木)

京都北山の植物園

お母さんの介護のために定期的に鳥取から京都へ来ている友人。今回は共通の友人も一緒に3人でランチと散歩の〈哲樂サロン〉。三人それぞれに自分ならではの仕事の世界があり、道はちがっても、想いはどこかで共通。時間的には短かったですが、中身の濃いひとときをすごしました。植物園には様々な種類のアジサイが咲き誇り、蓮の花も愛でることができて、まさに『哲樂の中庭』な時間dした。







2022年6月27日(月) 晴⇔曇

先週の新聞に、6月中に関東は梅雨明けの可能性という記事が出ていた。えっ?!とビックリしたけど、本当に梅雨明け。今年は異常なことが

- ゴーギャンの問い -

カレンダーはいま6月ですが、5月の初めぐらいに「梅雨の走り」なんてこともあったし、本当は7月じゃないかと思ってしまいます。昨日の夕陽、今朝の陽ざしは日本じゃないような、なにか中東のよう…。

昨夜は熊本で地震があって、先日の能登の地震といい、次は近畿、京阪神? ちょっと心配になってしまいます。「異常気象」はずっと続いているような感じがするし、もやは通常?

人間が起した異常事態あり、気象の異常あり、経済は値上げラッシュ、 秋にかけては一段の値上げのニュース。参院選各党党首たちの演説・ 公約が空虚に感じられます。

一昨年来、いまどういう時代の流れの中に自分がいるのかなぁと時々考えます。自分なりに読んでいる時流と符合しているのが気がかりですが、それはそれとして、前に進んでいかないといけない、自他ともに。

ゴーギャンの問い、『われわれはどこから来たのか、われわれは何者か、われわれはどこへ行くのか』、リフレイン。

2022年6月29日(水)新月 晴

近畿も昨日まさかの梅雨明け、今日も朝から陽ざしが眩しい。ほんとうに7月の感じ。それが6月なのだから、長い夏になる。北海道は大雨になっているとか。梅雨のないはずの地で梅雨真っ只中のような気象。どうなりつつあるのか地球。

- 土をさわる人は -

気象といい、世界の動きといい、未来予想にあまり明るさは持てないのですが、まずは目の前のやるべきことをしっかりやっていかないと…。気をとり直し、暑さを何とかしのぎ、秋を待ちたいですが、農業の人にとって今年の秋はさて、実りの秋になるのか…。

土をさわっている人は元気だなぁ。わざわざ採れたて野菜を届けてくれた人がいます。「いま〇〇の前に」と電話をもらい、大急ぎでエレベーターを降りると、夫さんが3つの紙袋をもって堺筋の東側に立っていました。ライトバンの助手席に満面の笑みのTさん、一年ぶりです。

車が多いので挨拶もそこそこに見送りました。昨年同じように届けてもらい、初めて会った夫さん、お二人とも人生の先輩、でもすごく元気そうです。仕事で出会ったのは5年前だったか、その時のお話で「ボランティアや勉強会などにも出かけてます」。

何を生業にするかによって、身にそなわってくるものも違ってきますが、 農業は人を大らかにするのではないでしょうか。気象に左右され、人間 の力でどうすることもできないことのが仕事の中に織り込まれている。 どこか達観するものがあって、だからこそ、「今」をいとおしく感じられる。

出会いは仕事で会っても、個人的にすごく親しみをもってもらうことが 時々あります。いとおしく思ってもらい、交流が今も続いている。なんとも 仕合せなことです。